KANAGAWA METAL PRESS INDUSTRY CO-OP

55th ANNIVERSARY · 1971 – 2026



創　立

五十五周年
記　念　誌

技術の継承、未来への挑戦

Inheriting Craftsmanship, Pioneering the Future

PUBLISHED BY

神奈川県金属プレス工業協同組合

Kanagawa Metal Press Industry Cooperative

Chapter — 00

Concept

技術の継承、
未来への挑戦

受け継がれた技を、次世代へ

団結の知恵を、新しい挑戦へ

本誌は、十六社の協業がたどった半世紀の歩みと、
これから始まる次の五十年への決意を、
静かに、しかし確かに書き留めるものです。

— Editorial Committee, 55th Anniversary —

創立55周年記念誌編集委員会

序 文

五十五年は、ひとつの産業が
地域に根を張り、世代を越えて続くために、
決して長すぎる時間ではない。



神奈川県金属プレス工業協同組合は、昭和四十六年六月十八日に設立されました。母体となったのは、神奈川県金属プレス工業会の会員企業です。当時、川崎市・横浜市を中心に散在していた金属プレス加工業者および関連業者は、住工混在地域における公害問題、立ち遅れた経営基盤、激しさを増す国際競争という三重の課題に直面していました。

この困難を、個社の努力だけで乗り越えるのではなく、業界として、地域として、共同で解こう。そう決意した先達たちは、伊勢原市鈴川の地に集団化事業を計画し、昭和四十八年から団地建設に着手、昭和五十一年三月に全社の進出を完了させました。建設の只中にオイルショックという未曽有の不況が訪れましたが、組合員は強い団結と相互扶助、協業の精神に基づいて困難を克服してまいりました。

以降、共同シャーリング、共同購買、警備、環境整備、教育情報、福利厚生――――共同事業は時代に応じて姿を変えながら、組合員企業の経営合理化と地域社会との調和を支え続けています。組合員各社は、精密プレス板金、精密金型、ファインブランキング、精密プラスチック成形、貴金属表面処理、防衛・航空宇宙関連加工など、それぞれの専門領域で日本のものづくりを下支えする存在へと成長しました。

本記念誌は、これまでの半世紀にわたる足跡を後世へ伝えるとともに、私たちが次の五十年に向けて「何を継承し、いかなる壁に挑むのか」を広く宣言するものです。金属プレス産業の現在地と未来への展望を分かち合う一冊として、皆様にご高覧いただければ幸いです。

令和八年十月 吉日

神奈川県金属プレス工業協同組合
創立55周年記念誌編集委員会

CONTENTS

目 次

巻 頭

01 表紙
02 コンセプト
03 序 文
04 目 次

挨拶・祝辞

05 理事長挨拶
06 祝辞 神奈川県知事
07 祝辞 伊勢原市長
08 祝辞 神奈川県中小企業団体中央会
09 祝辞 株式会社商工組合中央金庫

組合のあゆみ

10 扉 組合のあゆみ
11 組合の概要
12 第1期 集団化構想（1968–1979）
13 第1期 団地建設と進出完了
14 第2期 共同事業の深化（1980–2005）
15 第2期 名義変更と環境整備
16 第3期 次世代への継承（2006–2026）
17 第3期 コロナ禍と55周年へ
18 案内図
19 エリアマップ

会員企業紹介

20 扉 会員企業紹介
21 株式会社アマダプレスシステム
22 株式会社オーイズミ
23 型研精工株式会社
24 株式会社清富士
25 三光工業株式会社
26 株式会社山王
27 株式会社進士製作所
28 成幸工業株式会社
29 大新産業株式会社
30 株式会社竹内型材研究所
31 桐栄工業株式会社
32 株式会社マーク・レボ
33 ミツイ精密株式会社
34 株式会社三井三池製作所
35 株式会社ムサシノ精機
36 株式会社本橋製作所

巻 末

37 編集後記
38 丹沢 —— 連なる稜線
39 大山 —— 仰ぐ稜線
40 奥 付

五十五年の感謝と、次の半世紀への責任。



神奈川県金属プレス工業協同組合
理 事 長
中辻 和夫
Nakatsuji Kazuo・Chairman

神奈川県金属プレス工業協同組合は、本年をもって創立五十五周年を迎えることとなりました。これもひとえに、行政、関係団体、お取引先各位、そして地域の皆さまの長きにわたるご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

昭和四十六年六月、川崎・横浜の地に散在していた金属プレス加工業者が、住工混在地域の公害問題の解消と経営の近代化を志して結集し、本組合は誕生いたしました。建設の只中にオイルショックの大波を受けながらも、強い団結と相互扶助、協業の精神に支えられ、昭和五十一年三月に伊勢原工業団地への全社進出を完了。以来、共同シャーリング、共同購買、警備、環境整備、教育情報、福利厚生など、時代の要請に応じた共同事業を粘り強く積み重ねてまいりました。

ものづくりを取り巻く環境は、いま大きく変わろうとしています。自動車の電動化、半導体製造装置、医療機器、航空宇宙、防衛、そしてカーボンニュートラル ―― そのいずれもが、私たち精密プレス・金型産業に新しい技術力と、より高い品質、より迅速な対応を求めています。

この変化を私たちは恐れず、五十五年の間に積み上げた技と、十六社の結束は、これからの時代にも必ず通用するものと信じています。次の五十年に向けて、技術の継承と新しい挑戦を両輪としつつ、地域社会の信頼に応える組合であり続けることを、ここにお誓い申し上げます。

祝　辞

神奈川県知事

黒岩祐治　様

Kuroiwa Yuji · Governor of Kanagawa Prefecture



地域産業の結束が拓く
神奈川のものづくりの未来。

神奈川県金属プレス工業協同組合が創立55周年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

貴組合は、高度経済成長で深刻化していた公害問題の解消や経営の合理化・近代化を目指し、昭和46年に県の中小企業高度化事業の適用を受け、設立されました。昭和51年には伊勢原工業団地における集団化事業を完了され、半世紀以上の長きにわたり、地域産業を支える重要な役割を果たしてこられました。これまでの間、オイルショックや自然災害、近年では新型コロナウイルス感染症拡大といった危機的な社会情勢下においては、組合員の皆様が一致団結して困難を克服されるとともに、組合運営においても、時代のニーズに合わせて教育情報事業の充実や組合員の相互親睦を促進するなど、金属プレス加工技術の向上はもちろん、組合員企業の経営安定化に強い結束力をもって歩んでこられたことに深く敬意を表します。歴代の理事長をはじめ、組合員の皆様の長年にわたるご尽力に心から感謝を申し上げます。

現在の中小企業を取り巻く状況は、深刻な労働力不足、物価高騰、賃上げへの対応、そしてＤＸ(デジタルトランスフォーメーション)やＧＸ（グリーントランスフォーメーション）の推進など、大きな転換期を迎えています。さらに、ＡＩをはじめとする技術革新や物価、為替、金利の変動、地政学リスクといった社会経済情勢を反映した新たな経営課題が次々と顕在化している状況です。

県では、中小企業がこれらの変化に対応し持続的に成長していくため「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画」を策定し、「中小企業・小規模企業の元気で実現しよう！活気あふれるかながわ」を基本理念に、令和８年４月から第５期となる計画期間をスタートして施策を展開しています。

また、労働力不足に直面する中で、多様な人材が活躍できるよう職場環境の整備や外国人材の受入れに対する支援を行っています。さらに、ＡＩなどの最新技術を積極的に活用し、業務効率化やＤＸの推進を支援するなど、生産性向上を図りつつ企業の成長を促進する取組を進めています。

金属加工業は、さまざまな製造業を支える基盤であり、今後も変わらず重要な業種であると認識しています。皆様におかれましては、引き続き県の様々な取組へのご理解とご協力を賜りますとともに、本県経済の活性化にお力添えくださいますようお願い申し上げます。

最後に、この度の創立55周年を契機として、神奈川県金属プレス工業協同組合のますますのご発展と、組合員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉といたします。

祝 辞

伊勢原市長

萩原 鉄也 様

Hagiwara Tetsuya · Mayor of Isehara City



金プレが支え続ける「ものづくりの要」
55年の歩みを力に、次代の変革に向かって。

神奈川県金属プレス工業協同組合が、この度、創立55周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

また、貴組合の発展に寄与されてきた歴代の理事長をはじめ、組合役員、会員企業の皆様のこれまでの歩みと多大なるご尽力に対し、深く敬意を表します。金属プレス加工技術は、あらゆる製品の根幹を支える「ものづくりの要」であり、皆様が生み出す高品質な製品は、世界に誇る日本の技術の象徴として確固たる地位を築いています。

しかし、その歩みは決して平坦なものではありません。設立直後に直面されたオイルショックを皮切りに、円高不況、バブル崩壊、リーマンショックと、数多の経済的な試練が押し寄せました。その度に会員企業の皆様は、徹底した合理化や効率化に取り組まれ、これらの困難を乗り越えてこられたことと存じます。

現在、製造業を取り巻く環境は、DXの推進、カーボンニュートラルへの対応、そして次世代を担う人材の確保など、かつてない大きな変革期を迎えております。それでもなお、半世紀以上にわたり蓄積されてきた皆様の知見と高い技術力をもって、これらの課題を乗り越え、さらなる生産性の向上と技術革新に果敢に挑戦していかれ、皆様が、この変革の時代を牽引し、新たな価値を創造されることを心より期待しております。

本市もまた、伊勢原駅北口の再開発事業や伊勢原大山インターチェンジ周辺の土地利用、小田急電鉄の総合車両所の建設など、大きな変化を迎えようとしています。皆様の企業活動がより円滑なものとなりますよう努めてまいりますので、引き続き温かいご支援とお力添えをお願い申し上げます。

この55周年を一つの節目として、神奈川県金属プレス工業協同組合のますますのご発展と、会員企業の皆様方のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

祝　辞

神奈川県中小企業団体中央会
会長

森　洋　様

Mori Hiroshi · Predident



絆と実行力で、
地域と産業を次世代へ繋ぐ。

神奈川県金属プレス工業協同組合が創立55周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴組合は、昭和46年6月に協同組合として認可を受け、以来55年にわたり伊勢原市地域の産業振興と経済発展を力強く支えるとともに、県央地域における就労機会の確保にも大きく貢献してこられました。これらのご実績は、歴代理事長をはじめ役職員並びに組合員各位の不断のご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

これまでの歩みの中で、貴組合の実力を示した近年の特徴的な取組として、新型コロナウイルス感染症の流行時に、関係機関と緊密に連携してワクチン職域接種の実施体制を整え、組合員のみならず周辺企業の従業員にも接種機会を提供するなど、地域の感染拡大防止に大きく貢献されました。こうした職域接種を実施した組合は数少なく、事業活動の停滞抑制や雇用と暮らしを守るなど社会機能の維持に資する取組を実施されたことは、まさに貴組合の結束力と実行力を体現されたものであります。

さて、現下の企業経営環境は、原材料価格の高騰や人手不足の深刻化等の課題に加え、緊迫化が続く中東地域をはじめとする世界情勢がサプライチェーンの混乱を招いていることや、頻発化・激甚化している自然災害、サイバーテロなど、従来想定しづらかったリスクが高まっています。そうした中で、貴組合では、連携型事業継続力計画を策定し、国の認定を受けて、現在、本会の補助金も活用して計画内容の実行を目指して取り組まれています。この計画は、組合員企業の事業継続力を実効性ある形で高め、地域の安心・安全にも資するものであり高く評価されます。特に、災害時の対応では、組合員間の情報共有が可能なウェブサイトを整備し、非常時には組合員企業間で迅速な支援体制を構築できるようにしています。これも相互扶助の精神を活かした組合だからこそ実現できる連携協力の形であり、平時からの結束が非常時にも形となる好例と存じます。

貴組合におかれましては、事業実施体制の充実に引き続きご尽力いただくとともに、次代を担う人材の育成と技術・技能の継承にもお力添えを賜り、地域産業の持続的発展に一層寄与されることをご期待申し上げます。

結びに、創立55周年を契機として、神奈川県金属プレス工業協同組合が組合員の皆様とともに更なる発展を遂げられますことを心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

株式会社 商工組合中央金庫
代表取締役社長

関根 正裕 様

Sekine Masahiro · President & CEO



55年の確かな歩み、
共に創る新たな未来へ。

このたび、貴神奈川県金属プレス工業協同組合が創立55周年という輝かしい節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。組合、組合員の皆さま方におかれましては、私ども商工中金に対しまして、常日頃から格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

貴組合は、神奈川県金属プレス工業会の会員企業を母体として、川崎・横浜などに散在していた金属プレス加工および関連業者が、公害問題の解消と経営近代化・合理化を図るべく集団化事業の実施を計画し、昭和46年6月に設立され、昭和51年3月には組合員全社の団地内での操業が開始されました。

昭和46年の設立以来、金属プレス産業の発展と地域経済の振興に尽力され、半世紀を超える長きにわたり業界の成長を支えてこられました。今日の発展は、歴代理事長をはじめとする役員の皆さまの卓越したご指導と、組合員各位のたゆまぬご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

さて、我が国経済は、物価上昇や人手不足への対応に加え、デジタル技術の進展や市場環境の変化など、大きな転換期を迎えております。このような時代において、中小企業が持続的な成長を遂げていくためには、企業相互が強みを持ち寄り、経営資源や知見を補完し合いながら新たな価値を創出していくことがますます重要となっております。その中核を担う中小企業組合の役割は、今後さらに重要性を増していくものと考えております。

貴組合におかれましては、これまで培われた豊かな経験と強固な結束力を礎として、協同組合の理念のもと、組合員企業のさらなる発展はもとより、金属プレス産業全体の発展と地域経済の活性化を力強く牽引されますことを心よりご期待申し上げます。

私ども商工中金は、昨年の民営化を経て新たなスタートを切りました。民営化という一つの区切りはゴールではなく、新たな商工中金に向けてのスタートラインとなります。民営化により業務範囲もその制限が緩和され、より幅広い業務が行えるようになります。「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする」というパーパスのもと、「中小企業による、中小企業のための金融機関」という原点に立ち返り、株主でもあります組合の皆さまおよび組合員である中小企業の皆さまに対して、従来の金融を超えた課題解決・成長支援を通じて、これまで以上に様々なニーズにお応えできるよう変革を続けてまいります。組合、組合員の皆さま方におかれましても今後とも格別のご支援を頂戴できればと存じます。

結びに、創立55周年という記念すべき佳節を契機として、貴組合が今後ますますご発展を遂げられますとともに、組合員の皆さま方のご繁栄を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

I

組合のあゆみ

A Half-Century of Solidarity

昭和四十六年六月十八日、川崎・横浜の地から十六社の決意が結集した。
伊勢原の丘陵に立ち上がった工業団地は、いま五十五年の歳月を刻む。
強い団結、相互扶助、そして協業の精神 ——

1971 — · 55 YEARS · — 2026

組合の概要

基本データ

組合名	神奈川県金属プレス工業協同組合	設立年月日	昭和46年6月18日
所在地	〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川5	組合員数	16社
TEL / FAX	0463-94-6492 ／ 0463-92-3389	出資金	2,000万円
組合設備	組合管理センター 1,371㎡ 共同シャーリング工場 494㎡	団地内従業員	670名（当団地内）



組合会館外観

業種範囲

精密プレス板金加工、精密金型設計製作、精密プラスチック成型加工、各種自動化装置、産業機械装置、環境装置、半導体機器、外食関連周辺機器、遊技機関連装置・機器、スーパーマーケット用具等の製作、金属塗装ほか。基幹産業のサプライチェーンを下支えする、多彩な専門領域の集合体。

設立の経緯

神奈川県金属プレス工業会の会員企業を母体として、川崎市・横浜市等に散在していた金属プレス加工業者および関連業者が、住工混在地域における公害問題の解消と経営の近代化合理化を図るべく集団化事業を計画。昭和46年6月に組合を設立し、諸官庁・金融機関の指導を受け、昭和48年から伊勢原工業団地に団地建設に着手、昭和51年3月に全社の進出が完了した。

共同事業

01 — LEASE
賃貸事業
会館・工場・駐車場の運営管理

02 — PURCHASE
共同購買
収入印紙・切手・消耗品・嗜好品等

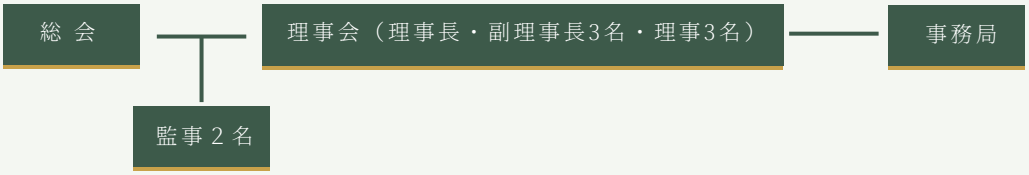
03 — SECURITY
警備事業
夜間休日の団地内警備

04 — ENVIRONMENT
環境整備
産廃処理・清掃・除草・剪定／環境測定

05 — EDUCATION
教育情報
新入社員研修・各種講習会・研修視察

06 — WELFARE
福利厚生
ボーリング大会等、組合員企業間の親睦

組織図



第1期 集団化構想と基盤整備

PART · ONE

1968 – 1979

公害問題への解、伊勢原への結集 ——
戦後ものづくりの再構築。

川崎・横浜の住工混在地域に散在していた金属プレス加工業者が、公害問題の解消と経営の近代化を旗印に結集。伊勢原工業団地への集団化事業を計画・着手し、組合の礎を築いた時代。

1968
昭和43年

神奈川県金属プレス工業会が母体に

川崎・横浜を中心に活動していた神奈川県金属プレス工業会の会員企業の間で、住工混在地域における公害問題、経営基盤の脆弱性、人材確保難への共通課題意識が高まる。集団化による解決構想が議論され始める。

1971
昭和46年

神奈川県金属プレス工業協同組合 設立

6月18日、工業会の会員企業を母体として、神奈川県金属プレス工業協同組合を設立。住工混在地域の公害問題解消と経営の近代化合理化を目的に、集団化事業の実施を正式に決定。諸官庁・金融機関の指導を仰ぐ。

小林豊吉理事長(当時 神奈川県金属プレス工業会 会長)
／秋山信政事務局長が就任して組合事業を開始

1973
昭和48年

伊勢原工業団地 建設着手

伊勢原市鈴川の地に団地建設を着手。直後にオイルショックが襲い、建設資材の高騰・金融引き締めという未曽有の不況に直面しながらも、組合員の強い団結と相互扶助、協業の精神で乗り越える。

1976
昭和51年

全社進出完了 —— 伊勢原工業団地へ

3月、全組合員企業の伊勢原工業団地への進出が完了。川崎・横浜から伊勢原へ。住工分離と公害問題の根本解決、集約された生産環境による合理化、共同事業の運用開始という、設立目的の最初の到達点を実現。

1979
昭和54年

共同事業の体系整備

共同シャーリング、共同購買、警備、環境整備、教育情報、福利厚生など、組合員企業の経営合理化を支える共同事業の運営体制が順次整備される。第二次オイルショック下でも、組合運営は安定した軌道に乗る。

写真提供：伊勢原工業団地協同組合（令和4年撮影）



伊勢原工業団地内（赤枠）に工場建設

COLUMN

団結が拓いた集団化の道

高度経済成長の終わりに差しかかった七十年代、川崎・横浜の街は急速な住宅化が進み、町工場と住民の距離は近すぎるほどになっていた。騒音、振動、排煙 —— 課題は鋭く、しかし誰か一社が動いたところで解決できるものではなかった。先達たちが選んだのは、競争相手と肩を並べて伊勢原の丘へ移ることだった。集団化は妥協ではなく、産業のあり方を作り直す決断だった。

第1期 団地建設と進出完了

MILESTONE 01

1971

組合設立

昭和46年6月18日。
出資金2,000万円。
母体は神奈川県金属プレス工業会。

MILESTONE 02

1973

団地建設着手

伊勢原市鈴川の地。
建設途上にオイルショック。
団結と相互扶助で乗り越える。

MILESTONE 03

1976

全社進出完了

昭和51年3月。
住工分離と公害解消、
共同事業運用の本格スタート。



組合会館　建設

建設途上の
大不況を乗り越えて。

建設途上に襲ったオイルショックは、組合と組合員企業に大きな試練を与えた。資材の急騰、金融引き締め、需要の冷え込み
——　多くの集団化計画が頓挫した時代に、本組合は理事会と組合員企業の決意により計画を続行。1976年3月、ついに全社進出を完了し、住工分離と共同事業の運用を本格的に開始した。

1983
昭和58年

- **中村祥男事務局長　就任**

1986
昭和61年

- **創立15周年記念行事**

設立15周年を記念する諸行事を企画・実施。組合員企業の結束を確認し、集団化以後の歩みを総括する。
記念誌『15年のあゆみ』を編纂・刊行。共同事業の質的拡充と次の節目に向けた方針を固める。

1988
昭和63年

- **環境整備事業の本格化**

産業廃棄物処理、団地内清掃・除草・剪定、健康診断・環境測定など、環境整備事業の運営体制を強化。
住工混在問題の解消という設立目的を継続的に達成する仕組みが確立される。





工場建設

第2期 共同事業の深化

PART · TWO

1980 – 2005

安定成長と共同事業の質的拡充 ――
運営の自立、環境整備、教育の深化。

高度化・協調融資の償還完了で土地建物名義変更を実施。労務改善、安全衛生、団地リフレッシュなど、操業環境と組合員相互の団結を支える事業へと運営の重心が移行した時代。

1990 平成2年

- **高度化・協調融資償還完了 土地建物名義変更**

4月、組合員使用土地建物の名義変更を実施。集団化事業の起点となった高度化資金・協調融資の償還を完了し、組合運営は新たな段階へ。土地建物の各企業帰属が確定し、長期的な設備投資判断の自由度が大きく広がる。

1991 平成3年

- **肥後雄二事務局長　就任**

1995 平成7年

- **労務改善事業 時短問題の研修・実態調査**

時短問題が産業界全体の重要課題となるなか、組合として研修会や実態調査を実施し、中小規模ものづくり企業に適した労務改善のあり方について、組合員企業が共同で議論・検討する場を定着させる。

1996 平成8年

- **安全衛生促進事業／団地リフレッシュ事業**

安全衛生促進事業を立ち上げ、組合員企業の労災防止と健康管理を共同で推進。同時に団地内の景観・施設リフレッシュ事業を計画し、創立20年を機に操業環境のグレードアップを図る。

1998 平成10年

- **野中敏幸理事長　就任／小泉照信事務局長　就任**
- **共同給食事業中止の決断**

新理事長就任。共同給食事業は時代の変化と各社対応の多様化により中止を決断。共同事業も「やり続けること」だけでなく「終え方」を判断する成熟期に入る。

1999 平成11年

- **大山クリーンキャンペーン参加開始／中央道路検討委員会**

伊勢原のシンボル大山を対象とした地域清掃活動「大山クリーンキャンペーン」への組織参加を開始。
同時に団地中央道路の整備に向けた検討委員会を発足。地域共生と団地内インフラの双方を整える。

2025年「大山クリーンキャンペーン」継続実施。長年のクリーン活動が功を奏したかごみが少ない大山ですが重点の集団清掃範囲（阿夫利神社駅⇔見晴台）を実施して帰路はグループ毎にコースを選択して清掃しながら下山をします。中には山頂を目指す頼もしい強者もいます。







回収したゴミは少ないが
綺麗な大山の証です

1999年から続く、大山クリーンキャンペーン開催（2025年11月16日実施）

第2期 名義変更と環境整備

2001 平成13年

- **伊勢原工業団地と分離し独自の建築協定締結**

伊勢原工業団地全体の枠組みから分離し、本組合独自の建築協定を締結。組合員企業の事業特性に即した、より細やかな建築・操業ルールを自律的に運営する体制を整える。

2002 平成14年

- **共同加工事業を廃止／シャーリング工場の賃貸事業開始**

共同加工事業委託先の業務撤退を機にシャーリング共同加工事業を終了。新たにシャーリング工場の賃貸事業を開始した。

2003 平成15年

- **伊勢原市へ中央道路寄付申出書提出**

団地中央道路に関し、伊勢原市への寄付申出書を提出。地域インフラとしての位置づけを明確にし、行政・地域・組合の三者協働での維持運営に向けた手続を進める。

- **西川健事務局長　就任**

2004 平成16年

- **中央道路寄付行為完了**

中央道路の伊勢原市への寄付行為が完了し、地域公共インフラとしての位置づけが確定。

- **組合員企業 株式会社オーイズミ 東証一部上場**

株式会社オーイズミは2000年店頭登録、2002年東京証券取引所第二部上場を経て東京証券取引所第一部上場。
組合員企業の社会的信用が、全国・国際の市場の評価へと広がる時代の象徴となる。

2005 平成17年

- **高速道路割引制度変更／保養施設契約／組合員構成の見直し**

高速多頻度割引制度の変更に伴う事務取扱いを再整理。保養施設の新規契約を実施。同年、サニー工業が組合を脱退し関連業務を組合員企業の株式会社清富士へ譲渡。組合員構成の見直しが行われる。

2006 平成18年

- **創立35周年記念行事／組合会館1階の賃貸事業開始**

創立35周年の記念行事を開催。同時に組合会館1階の賃貸事業を新たに開始し、組合保有資産の有効活用と組合運営の財務基盤強化を図る。記念誌『35年のあゆみ』を編纂・刊行。





2006年10月17日 創立35周年記念式典

KEYWORDS OF THE ERA

時代を象徴する5つの言葉

01	02	03	04	05
名義変更 高度化資金償還の完了	建築協定 運営ルールの自律化	中央道路 行政との連携深化	大山清掃 地域共生の象徴	上 場 組合員の社会的存在感

第3期 変化対応と次世代への継承

PART · THREE

2006 – 2026

技術領域の拡張と、次代への継承 ——
デジタル化、電動化、半導体、医療、航空宇宙、防衛。

創立35周年以降、組合員企業はそれぞれの専門領域でグローバルな技術要求に応える。
リーマンショック後の構造変化、コロナ禍、そして55周年へ。
神奈川県金属プレス工業協同組合は、次の50年に向けた基盤を整える。

2008
平成20年

- **島軒鐸朗理事長　就任**
- **リーマンショック対応**

世界金融危機による急速な需要収縮に対し、共同事業の運営、組合員企業の情報交換、雇用維持の知恵共有を強化。組合という枠組みが、有事において発揮する真価を再確認した時期。

2009
平成22年

- **当組合ホームページ開設**

組合員企業で自社のホームページ開設が少ないことから、当組合ホームページを開設。組合紹介と会員企業紹介の情報発信をした。

2011
平成23年

- **東日本大震災と創立40周年**

3月の東日本大震災を経て、サプライチェーン分断・電力制約という新たな試練に直面。同年、組合は創立40周年。組合員企業は、防衛・航空宇宙関連、医療機器、半導体実装機器など、社会基盤を支える領域への取組をさらに深める。

2012
平成24年

- **内山俊樹理事長　就任**

2016
平成28年

- **中辻和夫理事長　就任**
- **創立45周年／自動車電動化への対応強化**

創立45周年。自動車のハイブリッド化・電気自動車化が本格化するなか、組合員企業はHEV／EV用各種端子の試作・プレス加工へ事業領域を拡張。半導体製造装置部品の精密加工も、組合員企業の新たな主戦場として確立される。

2019
令和元年

- **令和への改元と新時代への準備**

改元を機に、組合は次の50年に向けた中長期方針の議論を深める。デジタル化、人材確保、事業承継 —— 中小ものづくり企業に共通する課題に、組合として向き合う方針を確認。

2020
令和2年

- **新型コロナウイルス感染症の拡大**

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大。組合員企業は、感染対策と事業継続の両立という未経験の課題に対応。組合の各種会合・行事のあり方も、リモート併用を含めた新しい形態へと組み直される。

2021
令和3年

- **新型コロナウイルスワクチン職域接種実施／職域接種プロジェクトチームの活躍**

職域接種プロジェクトチームがWeb手続きと現場管理を実施。1,200名（2,400回）の新型コロナウイルスワクチン職域接種を完了した。組合員及び家族と周辺企業、住民まで接種範囲を拡大して地域貢献にも務めた。

- **市川剛志事務局長　就任**

金融機関出身の事務局長から初の製造業出身の事務局長が誕生。
組合の使命は、設立以来の「資金管理を中心とした時代」から、「技術・人材・企業間連携を支え、組合員企業の持続的な発展に貢献する時代」へと発展した。

- **創立50周年 —— 記念事業中止の判断**

創立50周年を迎えるも、新型コロナウイルス感染症対策を重視し、記念事業の開催を中止と決断。半世紀の節目は静かに記録される。組合員16社は次の50年に向けて、技術・技能・経験・知恵を活かす事業展開を確認する。

2022
令和4年

- **当組合ホームページリニューアル／会員専用イントラネット「kinpre-net」運用開始**

会員企業の独自ホームページ充実を機に当組合ホームページリニューアル実施。同時に会員専用イントラネット「kinpre-net」を開設。組合運営の情報共有でIT化、DX化を推進。

第3期 コロナ禍と55周年へ

2022
令和4年

● サプライチェーン再編とエネルギーコスト高騰

半導体不足、エネルギーコスト高騰、地政学リスクの顕在化を受け、組合員企業はサプライチェーンの再構築と省エネ投資を加速。共同購買・教育情報事業を通じた知見共有が、有事の経営判断を支える。

2023
令和5年

● 連携事業継続力強化計画策定 —— 9月に認定取得

BCP対策に取り組む組合員企業16社で連携事業継続力強化計画を策定。参加企業各社は伊勢原工業団地内のほぼ2区画内に所在しているため、備蓄や人命救助、生産協力などで連携して事業継続に取り組む。



2024
令和6年

● カーボンニュートラルと事業承継

カーボンニュートラル対応、デジタル化、事業承継 —— 中小ものづくり企業に共通する三つの構造課題に、組合として共通の検討の場を設ける。次世代経営者の対話・研修も活発化。

2026
令和8年

● 創立55周年記念式典 —— 令和8年10月16日（金）

創立55周年。令和8年10月16日（金曜日）に記念式典を開催。記念誌『55年のあゆみ』を編纂し、次の50年に向けた技術の継承と新しい挑戦を組合として宣言する。





2021年7月、8月 新型コロナウイルスワクチン職域接種実施

— TOWARDS THE NEXT 50 YEARS —

次の五十年へ。
技術の継承、未来への挑戦。

五十五年前、川崎・横浜の地から決意を持って伊勢原に集った先達たち。
その志を、十六社はいま、自動車電動化、半導体、医療機器、航空宇宙、防衛、
カーボンニュートラルの最前線で形にしている。
技術の継承は、博物館に納めることではない。次の課題に応えるために使うことである。

案 内 図

HEAD OFFICE
神奈川県金属プレス工業協同組合

所在地
〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川5
TEL 0463-94-6492　FAX 0463-92-3389



神奈川県金属プレス工業協同組合は、厚木ICや伊勢原大山ICに近く、物流や車移動に大変便利な好立地です。さらに近隣では小田急線の「スマート新駅」構想も進められており、更なる利便性向上も期待されています。

アクセス

BY TRAIN 電車でのご来訪

・小田急小田原線「伊勢原駅」北口下車
・神奈川中央交通バスにて約15分（要確認）
・タクシー利用約10分が目安です。

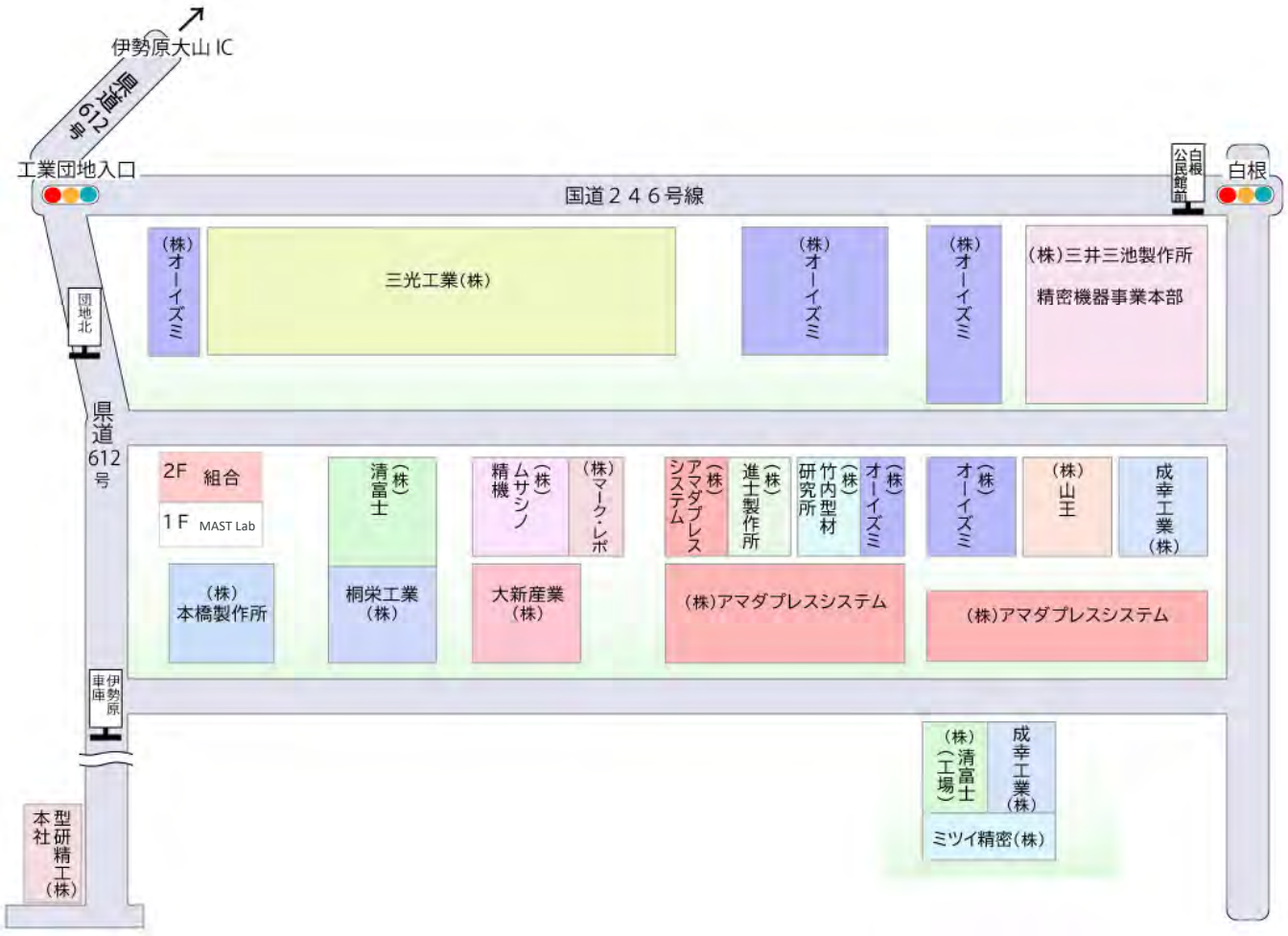
BY CAR お車でのご来訪

・東名高速道路「厚木IC」より約20分
・国道246号経由が一般的なルートです
・新東名「伊勢原大山IC」からもアクセス可能。

AREA MAP

エリアマップ

全16社からなる「神奈川県金属プレス工業協同組合」です。



REACH 01

首都圏直結

東名高速・新東名・国道246号により、横浜・川崎・東京・静岡県とダイレクトに結節。

REACH 02

産業集積の核

自動車・半導体・電機・医療機器・航空宇宙関連の主要拠点が集積する神奈川県中央部に位置。

REACH 03

大山と共に

伊勢原のシンボル大山を仰ぐ地で、地域と産業が共存する集団化のモデル。

II

会員企業紹介

16 Members · 16 Specialties

精密プレス、精密金型、ファインブランキング、
表面処理、精密成形 ―
それぞれの専門で、日本のものづくりを下支えする十六社。

QUALITY — PROBLEM-SOLVING — CHALLENGE

株式会社アマダプレスシステム

プレス機製造販売　自動化ライン構築　高精度ばね成形機



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	プレスマシン事業、プレス周辺装置事業、ばね成形機事業から成り、自動車、住宅設備、家電、電装部品、半導体、精密機器、医療機器・器具など、私たちの生活に欠かせない製品に使用される金属部品を生み出すマシンや装置の開発、製造、販売、サービスを担っています。
所在地	本社：神奈川県伊勢原市石田200 伊勢原鈴川事業所：神奈川県伊勢原市鈴川6 川口事業所：埼玉県川口市上青木西1-17-24 富士宮事業所：静岡県富士宮市北山7020
創立	1962年　7月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

①高精度・高効率な成形を実現するサーボプレスをラインナップ。難加工材の成形や、金型の長寿命化に貢献。②プレス機と材料供給装置を自社で一貫開発・製造しているため、高度に同期した安全かつ超高速な自動化ラインの構築が可能。③極細ボールペン先から医療用カテーテルのガイドワイヤーなど、世界最高水準の精度を誇るばね成形機を展開。



03 HISTORY
あゆみ

1962年の創業以来プレス加工の安全性と生産効率向上を追求し、プレス自動化装置の開発、提供を担ってまいりましたが、2000年にメックマシナリー合併、2018年にはアマダへの合併を経て、現在は「プレス加工のトータルソリューション」の提供を可能とし、お客様のあらゆるニーズにマッチした提案を行うことで、お客様とともに発展してまいりました。

04 CHALLENGES
挑戦

変化の激しい製造業のニーズに応えるため、当社は「デジタル化」と「グリーン化」を推進しています。　①機械の稼働状況や保守情報をリアルタイムで監視・分析し、工場のモニタリング、スマートファクトリー化を支援。　②消費電力を大幅に削減する省エネ型サーボプレスや、材料ロスを減らす高精度フィーダで、お客様のカーボンニュートラル達成に貢献。

05 VISION
未来展望

アマダグループが誇る国内外の強固なネットワークを基盤とし、導入前のエンジニアリング相談から、納品・稼働後のメンテナンス、レトロフィットまで、迅速かつ手厚いアフターサービスとお客様の生産ラインを止めない万全なサポート体制を実現しています。これからも確かな技術と革新的なシステム提案で、お客様の生産性向上とこれからのモノづくりの発展に貢献し続けます。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRESS MACHINES	PRESS PERIPHERALS	SPRING FORMERS	DIGITAL & GREEN
プレスマシン	プレス周辺装置	ばね成形機	デジタル･グリーン化支援

解決キーワード：生産ライン最適化･高速化･自動化･サーボ制御･保守･サービス品質

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://www.amp.amada.co.jp/ja/

株式会社オーイズミ

遊技機関連機器　貨幣処理機の製造　異業種への展開



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	遊技機関連の周辺装置・機器の製造及び販売、 健康食品・プロテイン・蒟蒻ゼリーの製造及び販売、 不動産の賃貸及び管理
所在地	本社　神奈川県厚木市中町2-7-10　オーイズミ厚木ビル 東京支店　東京都台東区東上野1−8−2 伊勢原第1工場　神奈川県伊勢原市鈴川7 伊勢原第2工場　神奈川県伊勢原市鈴川6 伊勢原第3工場　神奈川県伊勢原市鈴川6-3 伊勢原第4工場　神奈川県伊勢原市鈴川7-2 伊勢原第5工場　神奈川県伊勢原市鈴川5-11
創立	1968年　8月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

2度の内閣総理大臣賞受賞をかわきりに、貨幣処理技術を生かした業界初の機器を多数開発関連技術も向上することで貨幣処理で業界の中核となっています。人の生活サイクルを事業展開の基本に設け、遊ぶための事業、食べるための事業、不動産を所得する事業、夢や希望を持てる事業で成長。キャッシュレスの時代に入り新事業を展開、蒟蒻ゼリーなど食品事業に注力・拡張中。



03 HISTORY
あゆみ

1974年　8月　神奈川県伊勢原市鈴川6番地に本社及び工場移転
2000年　10月　株式を店頭(ジャスダック)上場
2002年　3月　株式を東証第二部に上場
2002年　7月　神奈川県厚木市中町2丁目に本社を移転
2004年　3月　株式を東証第一部に指定
2023年　8月　株式を東証スタンダード市場に選択移行

04 CHALLENGES
挑戦

メカトロニクス技術を駆使した貨幣・カード処理機など周辺設備機器の製造や優れたキャラクターコンテンツの開発を伴う遊技機製造の基盤事業。　農産食品・健康食品の、企画・製造・販売・OEM提供するなど　新分野を切り拓く成長事業太陽光発電でインフラを支え、首都圏を中心とした不動産の賃貸による安定事業。これら3つの事業分野の堅実な事業経営が新分野への挑戦を可能にします。

05 VISION
未来展望

想像を創造する開かれた企業として　製品だけでなく地域社会貢献活動でオーイズミブランドファンの広がりを図り、ECサイトの充実やインバウンド事業の拡大など、成長ポテンシャルの高い事業に積極的にチャレンジし、事業間でシナジー効果のあるM&Aなど可能性を秘めた展開をオーイズミグループでさらに強化・展開します。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

AMUSEMENT MACHINES	MONEY HANDLING	MECHATRONICS	DIVERSIFICATION
遊技機関連製造	貨幣･カード処理機	メカトロニクス技術	多角化事業

解決キーワード：　貨幣処理技術･周辺設備機器･多角化･シナジー効果･地域社会貢献

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://www.oizumi.co.jp/

型研精工株式会社

精密金型設計製作 | 一貫対応の高精度 | 高速トランスファ



型研精工株式会社　本社工場

01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	1. プレス・モールド 各種金型の設計製作販売 2. プレス・モールド 各種製品の生産販売 3. 高速トランスファ装置（金型内製品自動搬送）設計製作販売
所在地	伊勢原工場（本社）：神奈川県伊勢原市鈴川61番地1 大分工場：大分県国東市武蔵町糸原3113番地 中部営業所：愛知県刈谷市小垣江町本郷下49番地1
創立	1975年　12月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

精密金型の設計・製作から組立、調整、メンテナンスまでを社内で一貫して対応しています。長年培ってきた技術力と経験を活かし、お客様一人ひとりのニーズに合わせた最適な金型を、高精度・高品質で製作しています。また、お客様のご要望に柔軟に対応できる体制を整えています。

03 HISTORY
あゆみ

■1975年（昭和50年）東京都武蔵野市に
　　有限会社型研精工を創立。
■1979年（昭和54年）本社を神奈川県伊勢原市へ移転。
■1983年（昭和58年）大分工場が稼働。
■2025年（令和7年）創立50周年を迎える。



MF-TOKYO 2025　展示ブース

04 CHALLENGES
挑戦

変化し続けるものづくりの現場において、現状に満足することなく、さらなる技術力の向上と品質の追求に挑戦してまいります。最新設備の導入や人材育成にも積極的に取り組みながら、お客様の多様なニーズに応えられる企業を目指し、より高い価値を提供できるものづくりを追求してまいります。

05 VISION
未来展望

これからも精密金型づくりを通じて、お客様を支え続ける企業でありたいと考えています。技術と経験を次世代へ継承するとともに、時代の変化に柔軟に対応し、さらなる技術革新に取り組んでまいります。これからも社員一人ひとりが成長し、お客様から信頼され、社会に貢献できる企業を目指してまいります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRESS DIES	PLASTIC MOLDS	HIGH-SPEED TRANSFER	ASSEMBLY & MAINTENANCE
プレス金型	モールド金型	高速トランスファ装置	組立・メンテナンス

解決キーワード：社内一貫対応・高精度・高品質・最新設備導入・柔軟な対応力

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://kataken-web.com/jp/

株式会社清富士

金型から一貫加工　精密板金･プレス　短納期と高精度



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事 業	精密板金加工・金属プレス加工・金型設計製作（機械加工）
所在地	本社：神奈川県伊勢原市鈴川５番地 第２工場：神奈川県伊勢原市鈴川１７番地
創立	1954年　12月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

金型設計製作（機械加工）・プレス・精密板金・組立を社内にて加工している為、数量や形状、品質により適した加工方法をご提案できます。また、設計時よりご相談にのることもできコスト削減に貢献することができます。

03 HISTORY
あゆみ

１９５４年　プレス加工会社として設立
１９７４年　本社を移転＜伊勢原市鈴川５番地＞
１９７９年　第２工場を建設＜伊勢原市鈴川１７番地＞
１９９０年　精密板金部門を創設
２００９年　神奈川県優良工場で表彰を受ける
２０２６年　現在７２期



04 CHALLENGES
挑 戦

当社は、設計段階から相談できる金属加工業として、短納期・高精度への挑戦を続けています。できる・できないを即答し、最適な加工方法を提案することで、お客様の開発スピード向上に貢献します。小ロットでも高品質を維持し、信頼される製造パートナーを目指します。

05 VISION
未来展望

技術者の判断力こそが未来の競争力と捉え、加工判断や品質基準の体系化を進めます。若手が早期に戦力化できる環境を整え、地域製造業の技術力を次世代へつなぐ企業へ。相談できる加工会社として、より強い現場を築きます。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRECISION SHEET METAL	METAL STAMPING	DIE DESIGN & MAKING	PROCESS PROPOSAL
精密板金加工	金属プレス加工	金型設計･製作	最適な加工方法の提案

解決キーワード：社内一貫加工･コスト削減･短納期･小ロット対応･開発スピード向上

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://www.kiyofuji.co.jp/

三光工業株式会社

精密板金･プレス　設計から組立まで　サーバーラック



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事 業	精密金属加工業として高精度精密板金プレス製品を製作しております。設計開発から組立までお客様のニーズに合わせた製品づくりを行っております。
所在地	〒259-1146　神奈川県伊勢原市鈴川5番地
創立	個人創業1956年　8月 設立　1958年　3月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

創業68年で培った高精度製品を生み出す技術力を生かし、小型筐体製品から大型ユニット製品までご提案出来る体制を整え、最善の品質・コストの製品をお客様にお届けいたします。自社製品として多くの特許で作り上げた高耐震19インチサーバーラックの販売も進めています。



03 HISTORY
あゆみ

1958年　東京都品川区にて会社設立
1975年 伊勢原工場新設・本社移転
1996年 神奈川県科学技術大賞　受賞
1998年 科学技術省より科学技術省長官賞受賞
　　隣接地工場買収　新工場新設
2024年 ISO9001・14001 統合版取得

04 CHALLENGES
挑 戦

変化の激しい世の中ですが、永年培った技術力を生かして、次世代の製品ニーズに対応すべく日々情報収集を心掛け、製造力向上への挑戦を続けています。また、企業価値向上を目指し、DX化・省力化を進め地球環境に貢献出来るよう進んで参ります。

05 VISION
未来展望

創業68年を迎え新たな気持ちで`100年企業を目指し、お客様・協力会社とのパートナーシップをより強固に新時代に向け挑戦し続ける企業として進んで参ります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRECISION SHEET METAL	PRECISION STAMPING	LARGE UNITS	ORIGINAL PRODUCTS
高精度精密板金	精密プレス加工	大型ユニット製品製作	自社製品開発

解決キーワード：高精度精密板金･大型ユニット･高耐震･DX化･省力化

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
http://www.sankokogyo-inc.com/

株式会社山王

精密プレス金型　高信頼めっき技術　プラ成形金型製作



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	当社はコネクタ、スイッチ等の電子部品の精密プレス金型製作及びプレス加工、貴金属表面処理加工、プラスチック成形金型製作及び成形加工を行っております。
所在地	本社：神奈川県横浜市港北区綱島東5-8-8 東北事業部：福島県郡山市待池台2-5-6 鈴川技術センター：神奈川県伊勢原市鈴川7番地5 秦野プレス技術センター：神奈川県秦野市曽屋566 古川工場：宮城県大崎市田尻大嶺字薬師53-6
創立	1958年　8月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

当社のめっき加工は、70年以上にわたる歴史の中で蓄積した経験と、自社開発によるプロセス・薬液・設備を基盤とした 高信頼めっき技術 です。とくに 部分Auめっき・スポットAuめっき・微細スポットAuめっき・複合めっき を得意とし、自動車・通信機器・産業機器の各市場で、接触信頼性・耐食性・導電性・耐熱性などの高い要求に応えています。



03 HISTORY
あゆみ

1958年8月 神奈川県川崎市にて創業(山王鍍金工業所)
1969年 山王鍍金株式会社に組織変更
1985年 伊勢原工業団地に鈴川工場設立
1988年 株式会社山王に社名変更
2007年 JASDAQ上場
2022年 東証スタンダード市場へ移行
2024年 明王化成を子会社化し成形事業強化

04 CHALLENGES
挑戦

当社グループは表面処理・プレス加工の技術を基盤に社会へ貢献する創業精神を受け継ぎ、持続的成長と価値創造の実現を目指している。パーパス・ビジョン・ミッション・バリューを明確に定め、ステークホルダーとともに新たな価値創出と企業価値向上に挑戦している。

05 VISION
未来展望

100年継続企業を目指し、常に業界トップへの挑戦を続けてまいります。社会インフラを支えて安心・便利な暮らしの実現に貢献し、絶えざる技術革新で「できないをできる」に変え、新たな価値を創造し、社員と地域社会とともに持続的な発展を実現していきます。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRECISION STAMPING	SURFACE TREATMENT	PLASTIC MOLDING	ADVANCED PLATING
精密プレス加工	貴金属表面処理加工	プラスチック成形	複合・スポットめっき技術

解決キーワード：高信頼めっき・接触信頼性・耐食性・導電性・耐熱性・複合めっき

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://www.sanno.co.jp/

株式会社進士製作所

高速プレス加工　各種端子の製造　自社製DXツール

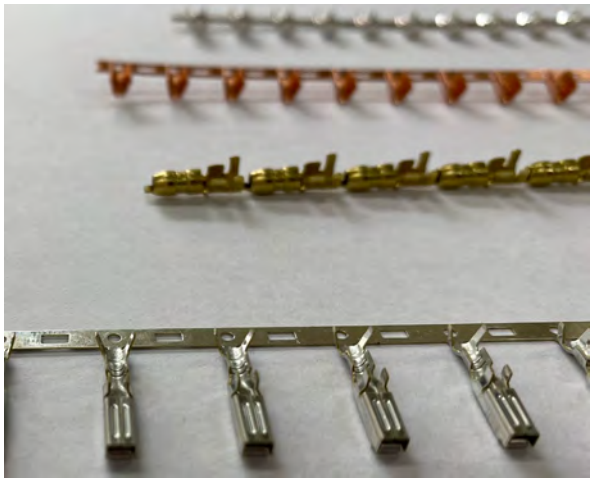


01 COMPANY PROFILE
会社概要

事 業	高速プレスを使用して、自動車・電気製品向けの各種端子の製造を行っております。
所在地	神奈川県伊勢原市鈴川6
創立	1957年　11月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

特に自動車関連に使用されている部品や端子など、精度が要求される加工を得意としております。それに対応できる様々なプレス機械を持ち合せており、受注頂いたオーダーに対して1つ1つ丁寧に魂を込めてモノづくりに取り組んでおります



03 HISTORY
あゆみ

昭和27年　個人企業 進士製作所として(プレス金型及びプレス加工)創業昭和32年　有限会社 進士製作所を設立、個人企業を合併する昭和46年　本社を神奈川県川崎市に移転昭和49年　有限会社より株式会社に組織変更、社名を株式会社進士製作所とする昭和49年　神奈川県伊勢原市に在る伊勢原工業団地内に本社及び工場移転

04 CHALLENGES
挑 戦

当社では、製造現場を持つ町工場だからこそ分かる課題に向き合い、【現場目線】で、【現場が本当に必要とする】DXツールづくりに挑戦しています。QRコードとExcelを活用し、生産実績管理や材料棚卸し管理を自社で実運用。大規模なシステム導入に比べ、低コストで小さく始められる仕組みとして、現在は外部企業様にもご利用いただいております。

05 VISION
未来展望

DXによる現場改善をさらに進め、生産効率の向上と収益力の強化に取り組んでまいります。町工場だからこそできる工夫を積み重ね、自社の成長だけでなく、同じ製造業を担う皆様とともに、ものづくりの未来を支えていける会社を目指します。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

HIGH-SPEED STAMPING	TERMINAL MANUFACTURING	PRECISION PARTS	FACTORY DX
高速プレス加工	自動車等向け端子製造	高精度部品加工	製造現場DXツール提供

解決キーワード：高精度加工・現場目線・低コストDX・生産実績管理

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://shinji.co.jp/

成幸工業株式会社

精密部品の加工　切削と研削加工　一貫した受注体制


伊勢原第一工場

01 COMPANY PROFILE
会社概要

事 業	当社は、主に切削加工・研削加工を基本とし精密電機機械器具及び精密光学機器の部品加工を行っております。
所在地	本社：神奈川県横浜市泉区和泉中央南2-17-6 伊勢原第一工場：神奈川県伊勢原市鈴川7番地 伊勢原第二工場：神奈川県伊勢原市鈴川17番地
創立	1962年　10月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

材料調達から切削・研削加工、表面処理、熱処理、組立までの一貫した受注が可能であり、複合加工設備を使用して高い技術や多くのノウハウを必要とする加工を得意としております。

03 HISTORY
あゆみ

1962年10月　本社所在地にて創業
1965年 3月　会社設立
1975年 1月　伊勢原第1工場設立
1979年 9月　伊勢原第2工場設立
2000年12月　ISO9001取得（第2工場特定部品対象）
2001年 5月　横浜本社 新社屋完成


伊勢原第二工場

04 CHALLENGES
挑 戦

当社は、切削加工、研削加工、いずれの分野におきましても、お客様のご要望にお応えすべく、日々努力を重ねてまいりました。今後もさらにお客様とともに考え、提案し、長年培ってきたノウハウをベースにした加工技術の進化を追い求めてまいりたいと考えております。

05 VISION
未来展望

当社は創業以来「お客様満足」を胸に歩んでまいりました。今後は、これまでに培った技術と信頼を基盤に「お客様の半歩先、一歩先の未来」を見据えたパートナーであり続けたい、そしてそれが金属プレス工業協同組合、伊勢原市、神奈川県の発展に貢献できればと考えております。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

MACHINING	GRINDING	SURFACE & HEAT TREATMENT	MULTI-TASK MACHINING
切削加工	研削加工	表面処理･熱処理	複合加工設備での加工

解決キーワード：切削･研削加工･一貫対応･複合加工･高精度･加工ノウハウ

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
http://www.seiko-kk.co.jp/

大新産業株式会社

精密プラ部品製造　金型から一貫生産　高品質な製品提供



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	当社は精密プラスチック部品メーカーです。金型設計・製作から成形、塗装・印刷・組立までの一貫生産体制で、高品質な製品を提供しています。
所在地	本社工場：神奈川県伊勢原市鈴川5番地6他 拠点：阿見工場、茨城工場、鏡石工場、福島工場、宮崎工場、大分工場
創立	1964年　8月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

創業以来培ってきたプラスチック成形技術を基盤に、金型設計・製作から射出成形、塗装・印刷・組立までを一貫して対応しています。改善活動やDXを推進しながら品質・生産性の向上に取り組み、お客様の多様なニーズに応える高品質・高付加価値なものづくりを追求しています。



03 HISTORY
あゆみ

1964年の創業以来、プラスチック成形技術を磨き続け、1966年にキヤノン株式会社様との取引を開始しました。その後、生産拠点の拡充や生産体制の強化を進め、現在は全国7拠点を展開。時代の変化に柔軟に対応しながら、お客様とともに成長を続けています。

04 CHALLENGES
挑戦

良い伝統を守りながらも、新しい価値観や技術を積極的に取り入れ、挑戦し続ける企業を目指します。社員一人ひとりがやりがいと誇りを持ち、生き生きと働ける職場づくりを進めるとともに、仕事を通じて成長し、仲間と達成感を分かち合える企業文化を育んでまいります。

05 VISION
未来展望

技術を磨き、進化し続ける企業として、人と技術を未来へつなぎ、新たな価値を創造してまいります。お客様から信頼され、社員一人ひとりが成長を実感しながら活躍できる企業を目指し、地域社会とともに持続的な発展を続けてまいります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

MOLD DESIGN & MAKING	PLASTIC INJECTION	PAINTING & PRINTING	INTEGRATED ASSEMBLY
金型設計・製作	プラスチック射出成形	塗装・印刷加工	組立一貫体制

解決キーワード：プラスチック成形・一貫生産体制・高品質・高付加価値・DX推進

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://dai-shin-sangyo.jp/

株式会社竹内型材研究所

標準金型部品　超精密研削加工　型材研究開発



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	当社は自社MASTブランドにて開発・製造・販売を行う電子部品用標準金型部品メーカーです。売上の8割は独自の技術を活かした超精密製品ですが、近年は製造装置、半導体、航空宇宙向け等へとフィールドが拡がっております。
所在地	本社：神奈川県伊勢原市鈴川6番地 第2工場：神奈川県伊勢原市白根416-3 MAST R&D Lab：神奈川県伊勢原市鈴川5番地
創立	1975年　7月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

当社の強みは、独自の熱処理・研削ノウハウを駆使した超精密研削加工です。高硬度材や薄板の微細加工を得意とし、平面度・平行度を極限までゼロに近づける技術や鏡面研削が最大の特徴です。圧倒的な精度で「独自化・差別化商品」を創出し、迅速な納入体制のもと、皆様の高度なモノづくりを力強くサポートいたします。

03 HISTORY
あゆみ

1954年より金型部品の標準化・規格作りに尽力し、1975年に独立分離して設立いたしました。伊勢原をはじめ全国に拠点を展開し、迅速な納入体制を確立。「日本塑性加工学会功労賞」や「新技術・新製品賞」を受賞するなど、確かな技術で日本の金型産業を支えてまいりました。今後も「新たな価値の創造」を追求してまいります。

04 CHALLENGES
挑戦

激動するモノづくり環境の中、当社は常に「精密分野」という高度な要求に対する技術的限界への挑戦を続けています。汎用品にとどまらず、お客様の細かなニーズに応える独自化・差別化された機能部品の開発に注力。より高精度・高品質・短納期を実現するため、絶え間ない技術革新と生産体制の高度化に取り組んでおります。



05 VISION
未来展望

組合設立55周年という節目を機に、次世代のモノづくりを牽引する企業として更なる飛躍を目指します。長年培ったノウハウと最新技術を融合させ、世界の精密分野に不可欠なパートナーであり続けることが目標です。今後も組合および組合員企業の皆様と共に発展し、神奈川県ならびに伊勢原市のモノづくりと豊かな社会の実現に貢献してまいります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

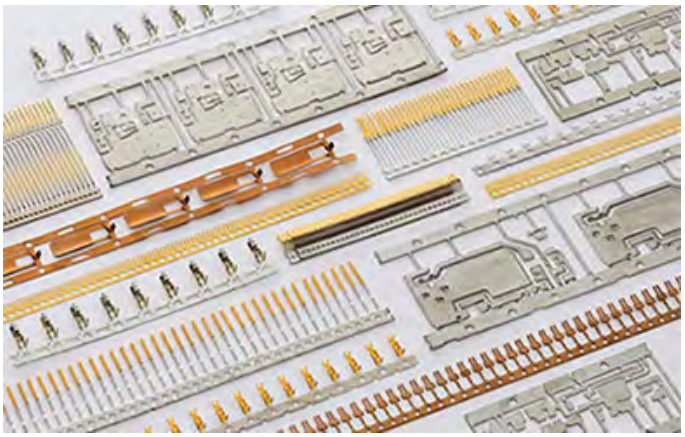
HARDENED PLATES ハードンプレート	DESIGN 規格開発	MATERIAL 型材選定	SUPPLY 安定供給

解決キーワード：　長寿命金型部品･高耐摩耗･超平面･短納期供給･高硬度シム

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://mast-takeuchi.co.jp/

桐栄工業株式会社

精密プレス加工　コネクター組立　自動車電装部品



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事 業	精密プレス加工・コネクター組立
所在地	工場：神奈川県伊勢原市鈴川5番地
創立	1956年　10月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

精密プレス加工を主業務として多様なニーズに幅広く技術開発し、お応えしてまいりました。そのノウハウを基礎に当社は精密電子部品から自動車、化学工業充填物部品、特に自動車電装部品に高い技術評価と安全、品質評価が得られております。

03 HISTORY
あゆみ

1956年10月 神奈川県川崎市にて創業
1974年6月　伊勢原金属プレス工業団地に移転
2004年10月 ISO9001(品質）認定取得
2005年10月 神奈川県優良工場表彰
2010年4月　かながわ中小企業モデル工場指定



04 CHALLENGES
挑 戦

地球環境保全のため当社の本技術加工開発は、近年問題視されている地球温暖化対策として、火力発電所、清掃工場、石油化学プラント等の排煙処理設備で使用される触媒が効率がよく、そして安価で幅広い素材材料で大量生産できる本加工品に変更され、CO2排出削減に大いに貢献しております。今後もあらゆる分野で幅広く活躍したいと考えております。

05 VISION
未来展望

当社創業昭和31年、金属プレス工業協同組合の創設当初からのメンバーとして今後も同業とともに発展拡大に貢献できるよう尽力して参ります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRECISION STAMPING	ONNECTOR ASSEMBLY	AUTOMOTIVE ELECTRONICS	ECO-FRIENDLY PARTS
精密プレス加工	コネクター組立	自動車電装部品製造	環境保全対応部品

解決キーワード：精密電子部品･自動車電装部品･地球温暖化対策･大量生産

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
http://www.doeikogyo.co.jp/

株式会社マーク・レボ

超高精度プレス　電子部品試作開発　ワンストップ体制



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	「高精度な製造技術で、電子部品に革命を」をモットーに、精密電子部品の試作・開発へ高精度・短納期で対応。培った技術を活かし、多様な金属部品の最適な加工方法のご提案までトータルにサポートします。
所在地	工場：神奈川県伊勢原市鈴川6番地
創立	2023年　4月



02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

独自のMERC加工技術により、板厚0.05〜0.5mm、加工精度±0.01mmの超高精度なサーボプレス加工を実現。精密電子部品の試作開発をメインに、1個から1000個程度の小ロットにも対応します。さらに組立や検査、エンボス梱包までをワンストップ・短納期で提供できる体制が強みです。

03 HISTORY
あゆみ

1996年に株式会社アマダにてMERC加工機の開発に携わる。
2004年MERC加工機による試作会社を立ち上げる。
2023年独立し、創業。

04 CHALLENGES
挑戦

独自のMERC加工技術を駆使し、精密電子部品における極小・超精密なものづくりの限界に挑戦しています。高いプロ意識を持った少数精鋭の技術者集団として、試作開発から量産一貫体制のさらなる高度化を目指し、最先端の技術力と柔軟な対応力で未来の電子部品開発を支え続けます。

05 VISION
未来展望

高橋グループの確かな基盤を強みに、試作から組立・検査・梱包までを一貫して担うワンストップ体制をさらに強化してまいります。今後も、少数精鋭ならではの高い技術力とプロ意識、そして独自の超精密加工技術を磨き続け、進化する電子機器分野の多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応することで、お客様から信頼されるものづくり企業として持続的な成長を目指してまいります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

MERC TECHNOLOGY	SERVO PRESS	PROTOTYPING	ASSEMBLY & PACKAGING
MERC加工法	超高精度サーボプレス加工	精密電子部品の試作・開発	組立・検査・エンボス梱包

解決キーワード：MERC加工技術・極薄板・超高精度・小ロット対応・ワンストップ・短納期

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://www.merc-revo.com/

ミツイ精密株式会社

プレス・成形金型 | 自動化設備の開発 | グローバル体制



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	弊社は精密プレス金型・プラスチック成形金型の設計・製作から、精密プレス加工、射出成形、組立、自動化設備の開発までを一貫して手掛け、国内外の生産拠点を通じて高品質な製品を提供しています。
所在地	【本社・温水】〒243-0033　神奈川県厚木市温水1947-2 【伊勢原工場】〒259-1146　神奈川県伊勢原市鈴川17番地 【秋田工場】〒010-0201　秋田県潟上市天王字鶴沼台73 【MITSUI PRECISION THAI CO.,LTD.】 Bangpa-In Industrial Estate 141 Moo 16, Tambol Bangkrason,Amphur Bangpa-In Ayutthaya 13160, Thailand 【MITSUI PRECISION VIETNAM CO.,LTD.】 Unit No.16 and 17, Plot P-1A, Apartment Factory No 3, Thang Long IndustrialPark,Thien Loc Commune, Hanoi City, Vietnam.
創立	1974年　5月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

設計開発から出荷までを一貫して担う生産体制により、安定した品質とトレーサビリティ、柔軟な納期対応を実現しています。精密プレス加工、樹脂成形、自動化設備開発の技術力と国内外の生産ネットワークを活かし、お客様の多様なニーズに応える高品質なものづくりを提供しています。



03 HISTORY
あゆみ

1974年の創業以来、精密プレス加工と金型製作を基盤に技術を磨き、プラスチック成形や自動化設備開発へと事業領域を拡大。さらに海外へ生産拠点を展開し、設計から量産までを一貫して担うグローバルな生産体制を構築。現在は国内外の拠点が連携し、高品質なものづくりで世界のお客様を支えています。

04 CHALLENGES
挑戦

さらなる成長に向けて車載分野や医療分野への取り組みを強化しています。高品質・高信頼性が求められる部品の製造技術を磨き、自動化・省人化の推進とグローバルな一貫生産体制を活かしながら、お客様の期待を超える価値を提供してまいります。

05 VISION
未来展望

培ってきた技術を礎に、新たな市場への進出と省人化設備の開発を推進し、世界へ挑戦を続けます。ものづくりへのこだわりを貫き、革新的な価値を創造することで、お客様の発展と社会の未来に貢献してまいります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRECISION STAMPING	PLASTIC INJECTION	AUTOMATION EQUIPMENT	GLOBAL PRODUCTION
精密プレス加工	プラスチック射出成形	自動化設備開発	グローバル一貫生産

解決キーワード：安定品質・トレーサビリティ・柔軟な納期・車載分野・自動化・省人化

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
http://www.mitsui-s.com/mwp/

株式会社三井三池製作所

金属製品の製造　自動車部品製造　農業機械部品

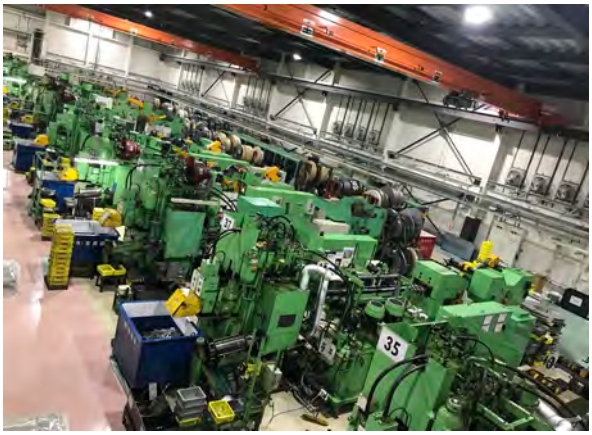


01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	当社神奈川事業所は精密機器事業本部の拠点として、金属製品製造の事業を行っております。主に自動車部品（エンドユーザーとしてトヨタ・日産・ホンダなどの自動車メーカー向け）他農業機械部品（クボタ・井関他）を製造しています。
所在地	【本店】〒103-0022 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 【神奈川事業所】〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川７番地３
創立	1959年　10月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

精密機器事業では、「ファインブランキング（ＦＢ）」という特殊なプレス加工方法で、打ち抜かれた製品は平滑な切断面を有し、高品質・高精度な製品を生産しています。また、二次加工を大きく省略することができ、お客様のコストダウンを実現しています。



03 HISTORY
あゆみ

１９６５年、座間市で神奈川事業所の前身であります東洋精密プレス工業を設立しました。１９９５年、伊勢原市へ工場を移転しました。２０２１年、伊勢原市内の２つの工場を、現在の場所へ新工場として移転集約し、２０２５年に当事業の６０周年を迎えました。

04 CHALLENGES
挑戦

「ファインブランキング（ＦＢ）」という加工方法は、１９６５年に我が社がスイスより日本へ初めて導入した言わば「パイオニア」です。これからもＦＢのトップランナーとして、従来からの自動車部品だけでなく、新たな分野・新たな素材へ販路を拡大して参ります。

05 VISION
未来展望

当社精密機器事業本部は、事業特性を活かし、これからも「高品質・高精度」に加え「カスタム対応」で堅実に成長して参ります。迫りくる「人手不足」「ＥＶ化の加速」に対し、設備の自動化・ＩＯＴデータの活用でスマートファクトリーを促進し、次の５０年に向けて歩みを止めず邁進します。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

Fine Blanking (FB)	High Quality & Precision	Custom Solutions	New Materials & Fields
ファインブランキング	高品質・高精度加工	柔軟なカスタム対応	新素材・新分野対応

解決キーワード：　二次加工省略・カスタム対応・新素材対応・EV化対応・省力化・スマート工場化

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://www.mitsuimiike.co.jp/

株式会社ムサシノ精機

小型プレス部品　工法転換の提案　金型設計と現場力



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	ムサシノ精機は、手のひらサイズの金属プレス部品を製造しています。絞り・抜き・曲げ加工を中心に、金型設計・製作から試作、量産、検査、付属加工まで一貫して担い、地域と産業のものづくりを支え続けております。
所在地	本社：神奈川県伊勢原市鈴川5番地
創立	1962年　4月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

同社の特長は、難しい形状や納期にも向き合う現場力にあります。単発・順送・トランスファー・ロボットプレスを使い分け、切削や板金からプレスへの工法転換、品質改善、材料歩留まり向上を提案。金型を知る自社技術部門と管理校正された測定機が、緊急時の対応力と安定品質を支え、ものづくりの課題解決に貢献しています

03 HISTORY
あゆみ

1962年、川崎市で金型製作・プレス加工業として創業。法人化を経て伊勢原金属プレス工業団地へ移転し、プレスの自動化、ワイヤー放電加工機、CAD/CAM、三次元測定機を導入。ISO認証や省エネ活動にも取り組み、時代の変化に応じて設備と技術を磨く、地域に根ざしたものづくり企業として歩みを重ねてきました。



04 CHALLENGES
挑戦

当社は、難しい製品や納期、価格条件にも向き合い、金型技術と現場の工夫で課題解決に努めてきました。切削・板金からプレスへの工法転換、品質改善、材料歩留まり向上に取り組み、組合員企業の一員として、地域ものづくりの可能性を広げる挑戦を続けています。

05 VISION
未来展望

創業以来培った金型設計とプレス加工の技術を礎に、当社は変化する時代の要請に応えてまいります。省力化、品質向上、人材育成に取り組み、神奈川県金属プレス工業協同組合の一員として、先人が築いた技術と信頼を次世代へ受け継ぎ、地域産業を支えてまいります。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

ORMING PROCESSES	VARIOUS STAMPING	DIE DESIGN & MAKING	PROCESS CONVERSION
絞り･抜き･曲げ加工	各種プレス加工	金型設計･製作	工法転換･品質改善提案

解決キーワード：　難形状対応･工法転換･歩留まり向上･緊急時対応力･省力化

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://musashinoseiki.com/

株式会社本橋製作所

精密板金･プレス　設計から一貫対応　通信防衛･半導体



01 COMPANY PROFILE
会社概要

事業	株式会社本橋製作所は、通信ネットワーク機器や防衛設備、半導体製造装置など、多様なジャンルにおいて精密板金、プレス、切削といった金属加工を中心に、設計からアッセンブリまで一貫したサービスを提供します。
所在地	本社：神奈川県川崎市中原区新丸子東２－９２４ 伊勢原工場：神奈川県伊勢原市鈴川５ 東北工場：宮城県加美郡加美町米泉字西原１-５
創立	1957年　7月

02 STRENGTHS
当社の強み・特徴

設計段階から品質面、コスト面など様々な提案をすることで、初期費用を大幅に削減できることを強みとしています。また、塗装、シルク印刷、組立組付けまでの工程を一貫して行えることを特徴としています。



03 HISTORY
あゆみ

今年で創立70周年。古くは電話交換機の時代から、現在５Gに至るまで、通信機器関連の精密筐体を中心にさまざまな分野の製品を作り続けてきました。同時に太陽光発電システムを設置し、使用電力の1/4をクリーンエネルギーで補っています。
2024年に東北第二工場を新設し、自動化に特化した設備を導入しました。

04 CHALLENGES
挑戦

新たなるジャンルとして、HONDAの電気自動車を充電するV2Hという製品の量産がスタートしました。今まで室内で使用される製品がメインだったので、紫外線や雨、気温の変化に耐えうる塗料を選定し、試行錯誤を繰り返してきました。近く皆様の庭先で目にする時が楽しみです。

05 VISION
未来展望

2024年に東北第二工場を新設し、曲げ加工、溶接加工、塗装工程にロボットを導入しました。テクノロジーが進化し、作業の機械化が進む一方で、製造業の担い手は減少している今、人の手から人の手へと伝えてきた技術を、進化する機械設備と多様化する需要に合わせて継承し、これからもお客様の信頼に応えていく所存です。

CAPABILITIES
主要技術・対応領域

PRECISION SHEET METAL	STAMPING & MACHINING	ASSEMBLY	PAINTING & PRINTING
精密板金加工	プレス･切削加工	設計からアッセンブリ	塗装･シルク印刷工程

解決キーワード：初期費用削減･一貫対応･通信機器関連･耐候性塗装･ロボット導入

OFFICIAL WEB SITE
公式ウェブサイト
https://www.mot-net.co.jp/

技術と知恵は、
記録されてはじめて、継承される。

本記念誌の編集を進めるなかで、私たちが繰り返し向き合ったのは、「五十五年という時間の重み」と、「これを次代にどう手渡すか」という問いでありました。

昭和四十六年の組合設立、昭和四十八年の建設着手、昭和五十一年全社進出完了――集団化の道のりは、決して順調なものではありませんでした。建設途上のオイルショック、平成のバブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、そして新型コロナウイルス。半世紀の間に、私たちの業界は何度も「もう続かない」と思われる局面を通過してきました。それでも組合員企業十六社は、そのつど結束を強め、共同事業の形を変えながら、互いを支えあって今日に至りました。

編集にあたっては、組合の歴史を年表として紐解きつつ、組合員企業各社が持つ技術と課題解決の「現在」を余すところなく書き留めることに注力いたしました。精密プレス、金型、ファインブランキング、貴金属表面処理、精密成形――それぞれの専門領域は異なりますが、「ものづくりの最前線にいる」という一点で、十六社は深く結ばれています。

次の五十年は、いまの私たちには見えない技術が標準となる時代でしょう。しかしどんな時代になっても、団結と相互扶助、そして協業の精神は変わらず必要とされるはずです。丹沢の稜線を仰ぎ、大山の麓で私たちが培ってきたものづくりの真髄が、本誌を通じて次代の経営者や技術者へと確実にバトンタッチされていくことを、編集委員一同、強く祈念しております。

最後になりましたが、原稿執筆、写真提供、ヒアリングにご協力くださった組合員企業各社の皆さま、ご祝辞をお寄せくださった関係各位、編集作業を支えてくださったすべての方に、深く御礼申し上げます。

神奈川県金属プレス工業協同組合
事務局長　市川 剛志

55
YEARS

— Editorial Committee —
創立55周年記念誌編集委員会
令和八年十月 吉日



丹沢、連なる。



大山、仰ぐ。

大山の麓には、ものづくりの灯は続く。

連なる山々に受け継がれる物語がある。

五十五年の節目を超え、その輝きは未来へ紡がれる。

KANAGAWA METAL PRESS INDUSTRY CO-OP

55th ANNIVERSARY · 1971 – 2026

PUBLISHED BY

神奈川県金属プレス工業協同組合

Kanagawa Metal Press Industry Cooperative

ADDRESS　〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川5

TEL　0463-94-6492

FAX　0463-92-3389

WEB　www.kanagawa-kinzokupress.or.jp

COLOPHON

発 行 日：令和8年（2026年）10月16日

発行・制作・編集：神奈川県金属プレス工業協同組合

創立55周年記念誌編集委員会

© 2026 KANAGAWA METAL PRESS INDUSTRY CO-OP · ALL RIGHTS RESERVED